

「グリーントランスフォーメーション(GX)を先導する高度人材育成」プロジェクト

プロジェクト生[2021.10 採用分]の募集に関して

このたび、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の次世代研究者挑戦的研究プログラム(SPRING)事業(脚注 1)に大越眞一教授(事業統括)が提案した「グリーントランスフォーメーション(GX)を先導する高度人材育成」プロジェクト(以下 SPRING GX と呼称する)が採択され、開始する運びとなった。全学の博士課程学生(4 年制博士課程学生を含む)を対象にプロジェクト生 600 名を募集する。

1. プロジェクトの目的と内容

人類の共有財産である地球を守るためには、地球規模の多種多様な課題に対峙し、それを解決する必要がある。本プロジェクトでは、人類の共有財産である地球環境をよりよく管理し、将来世代に引き継いでいくための社会の変革をグリーントランスフォーメーション(GX)と捉えている(脚注 2)(図 1)。本プロジェクトでは、GX 実現に向けて活躍する人材をあらゆる分野に規模感をもって輩出することを目的とし、深い専門性と高い研究力を持つ学生が好奇心をもって自由に挑戦的・創発的研究をする環境の構築、GX が社会の将来ビジョンの全体像そのものであることを理解し、自らの研究が社会課題に関連することに対する“気づき”の場の提供、及び社会において専門的能力を十分に発揮するためのトランスファラブルスキルの養成を行う(図 2)。本プロジェクトにおける博士課程学生の育成像は以下の通りである。

1. 好奇心を忘れず、常に挑戦的に研究を進める研究者
2. グリーントランスフォーメーション(GX)が人類社会の営みそのものであることに鑑み、専門以外の多様な分野を知り、高度で幅広い教養を身に着けた人材
3. そのうえで、様々な分野の研究者と創発的研究を積極的に行える研究者

SPRING GX では、キャリア開発・育成コンテンツとして基幹プログラム(図 3)と高度スキル養成プログラム(図 4)を提供する。基幹プログラムとして、個々の学生の意識の中に GX のコンピテンシーを埋め込むことを目的とした、GX に関する俯瞰講義、分野を超えた学生達同士の交流を通じて自らの研究と GX の関係を見出していくグリーン未来交流会、そして様々な分野の最先端研究と GX の関わりを気づかせる GX インスパイア講義の 3 つのプログラムを実施する。高度スキル養成プログラムでは、将来、GX 人材として専門的な能力をいかなる分野においても存分に発揮しうる能力の涵養を目的とし、海外派遣・産学連携・トランスファラブルスキル習得支援に関し、個々の専門性・事情に合わせた多様なプログラムを提供する。

(脚注 1) 次世代研究者挑戦的研究プログラム(SPRING)は、政府が 2021 年 9 月から開始する、博士課程学生を 6000 人支援するという施策である。以下に、SPRING 事業をご理解いただくため、JST の公募要領の抜粋(一部改変)を示す。

博士課程学生は、我が国の科学技術・イノベーションの将来を担う存在であるが、近年、「博士課程に進学すると生活の経済的見通しが立たない」「博士課程修了後の就職が心配である」等の理由により、修士課程から博士課程への進学者数及び進学率がいずれも減少傾向にあるなど、危機的な状況が指摘されている。すなわち、①我が国の科学技術・イノベーションの将来を担う優秀な志ある博士課程学生への経済的支援を強化し、②博士人材が幅広く活躍するための多様なキャリアパスの整備を進めることに、一刻の猶予もなくなりつつある。本事業は、博士課程学生の育成に関する確固たる独自の構想と、既存の枠組みを越えた優秀な博士課程学生の選抜、並びに当該博士課程学生が主体的に自らの研究を行い得る研究環境及び多様なキャリアパスの形成に向けた支援の提供を、それぞれ確実に実施し得る知見と能力を有する事業統括(事業統括は 1 大学につき 1 名)を厳正な審査の上で選定するものである。なお、これらの取組を円滑に実施するため、事業統括は、自身の業務遂行を支える運営チームを運用する。また、本事業全体の有効性についても客観的な把握を行い、十分な成果が挙げられるよう、不断の見直しを行う。

(脚注 2) グリーントランスフォーメーション(GX)とは、狭義には、温室効果ガスの発生による気候変動を抑制し経済成長につなげるような産業構造や社会経済の変革を表す場合が多いが、本プロジェクトでは GX をより広く捉え、人類の共有財産である地球環境をよりよく管理し、将来世代に引き継いでいくための社会の変革と定義する。したがって、対象とする学問分野は人類の営みと関係する分野、すなわち全分野であるため、理工系のみならず人文・社会系も重要な分野となる。人文・社会分野のプロフェッショナル人材と科学技術分野のプロフェッショナル人材との連携は、GX を成功させるための要であると考えている。

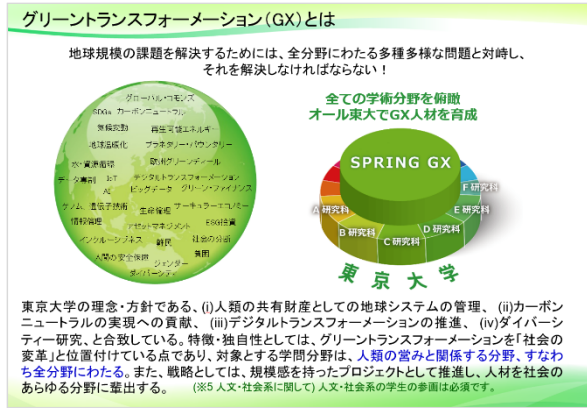


図1：グリーンTRANSフォーメーション (GX) とは



図2：SPRING GXの目的と概要



図3：GX 基幹プログラム



図4：WINGS 高度スキル養成プログラム

2. 申請資格

本プロジェクトに申請をすることのできる大学院学生は、博士後期課程1年、博士後期課程2年、博士後期課程3年、4年制博士課程博士1年、4年制博士課程博士2年、4年制博士課程博士3年、4年制博士課程博士4年に在籍している者、または2021年10月に博士課程に入学・進学する者で、かつ、次の要件を全て満たす者とする。

- ・本プロジェクトの趣旨、履修要件等のルールを十分に理解し、本プロジェクトに関わる活動等に協力する者
- ・日本学術振興会 (JSPS) 特別研究員に応募し、採択された場合にも本プロジェクトに引き続き在籍することを確約する者
- ・海外派遣プログラム、産学連携インターンシップ、トランスファラブルスキル獲得支援プログラムに積極的に参加する意思のある者

ただし、2021年10月1日時点で以下のいずれかに該当する学生は申請することができない。

- ・標準修業年限を超えて在籍している学生、休学中の学生
- ・国費外国人留学生、外国政府派遣留学生、日本学術振興会 (JSPS) 特別研究員 (DC)、文部科学省科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業採用学生、文部科学省卓越大学院プログラム (WISE) 生
- ・博士課程教育リーディングプログラム生、国際卓越大学院教育プログラム (WINGS) 生
- ・その他の東京大学および国立研究開発法人の事業により月額16万円を超える経済的支援を受けている学生
- ・所属する企業等から、生活費相当額として十分な水準(240万円/年以上)で、給与・役員報酬等の安定的な収入を得ていると認められる学生

(注) 東京大学の他の事業との二重の受給はできない。(ただし、TAは除く。)

3. 選抜方法

プロジェクト生の選抜は、申請書をもとに判断して行う。

4. 募集人員

合計600名

5. 選抜結果発表及び採用手続き

- (1) プロジェクト生の選抜結果の発表は、2021年10月末頃に申請者全員に対し、選抜の結果を申請書に記載された E-mail アドレスあてに電子メールにて送信する。

- (2) 採用手続書類は、採用決定者に対して電子メールにて送信する。採用決定者は、指定の期日までに必要な採用手続(採用手続書類の提出)を行うこと。

6. 申請手続

(1) 申請書類

(a) 申請者情報

募集ページに記載の申請用ウェブサイトに UTokyo アカウントでサインインの上、必要事項を入力すること。その際、どの WINGS に関連したいか選択すること。

(b) 申請書(グリーントランスフォーメーションの中での自らの研究の位置づけと提案、および研究活動の状況)

募集ページから所定の様式をダウンロードして記入し、電子ファイル(WORD を変換した PDF)を申請用ウェブサイトにある所定箇所からアップロードすること。

(c) 指導教員の確認票

申請用ウェブページでの申請を完了すると(a)の申請者情報に入力された指導教員のメールアドレスあてに確認票への入力を依頼するメールがシステムから自動的に送信され、指導教員は指定されたウェブサイトに UTokyo アカウントでサインインの上入力する(注1・2)。

(注1) 申請者のウェブ申請が完了しない限り、指導教員へ入力依頼が送付されないので注意すること。

(注2) 申請前に指導教員の許可を得ること。教員の確認票を受付期間内に受理しなかった場合は、申請自体を受理しないため、必ず指導教員にオンラインで入力が完了したかを確認すること。

(2) 申請締切

2021 年 9 月現在在学中の者: 2021 年 10 月 5 日(火) 15:00

2021 年 10 月入進学予定者: 2021 年 10 月 12 日(火) 15:00

受付期間終了直前は、サーバーが混み合う可能性があるため、余裕を持って申請すること。

7. 採用期間

博士課程修了までの期間(標準修業年限内)

8. 経済的支援

研究奨励費として月額 18 万円を支給する。また、研究費として 1 年あたり一律 34 万円を支援する予定である。さらに、事業統括配分経費を利用し、海外渡航旅費等に関して審査を経て支給する。ただし、JSPS 特別研究員に採択された学生は本プロジェクトからの研究奨励費及び研究費の支給を受けることはできない。

なお、研究奨励費(生活費相当額)は税法上雑所得として扱われ、所得税、住民税の課税対象になる。そのため、確定申告が必要となることや以下の事項について、自身で確認するとともに、扶養義務者(親等)に適切に周知すること。

- ・ 自身で、社会保険、年金等の手続き・管理を行うこと。
- ・ 健康保険や扶養手当等における扶養の扱いについては、扶養義務者(親等)の職場等の担当者に問い合わせ確認すること。
- ・ 所得税における扶養の扱いについては、近隣の税務署に問い合わせ確認すること。

9. 注意事項

- (1) 受付期間内に必要書類が完備しない申請は、原則として受理しない。
- (2) 申請手続完了後は、どのような事情があっても、書類の変更は認めない。
- (3) 事情により、申請手続等について変更することがある。変更があった場合は、改めて通知する。
- (4) 申請に当たって知り得た氏名、その他の個人情報については、①選抜(申請処理、選抜実施)、②採用者発表、③採用手続、④キャリア開発・育成コンテンツの実施、⑤追跡調査、⑥研究奨励費及び研究費の支給に関する業務を行うために利用する。また、科学技術振興機構(JST)に個人情報の一部を提供することがある。
- (5) 申請書における記載内容について虚偽の記載をした者は、採用後においても遡ってプロジェクト生であることを取り消すことがある。
- (6) 採用者の氏名は、本学ホームページで公表する。
- (7) 採用者は、研究倫理教育及びコンプライアンス教育を必ず受講しなければならない。

10. 問い合わせ先

SPRING GX 事業統括オフィス

Email: gxoffice.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp